

B. 町内小中学校の現状と推移

(1) 町内小中学校について

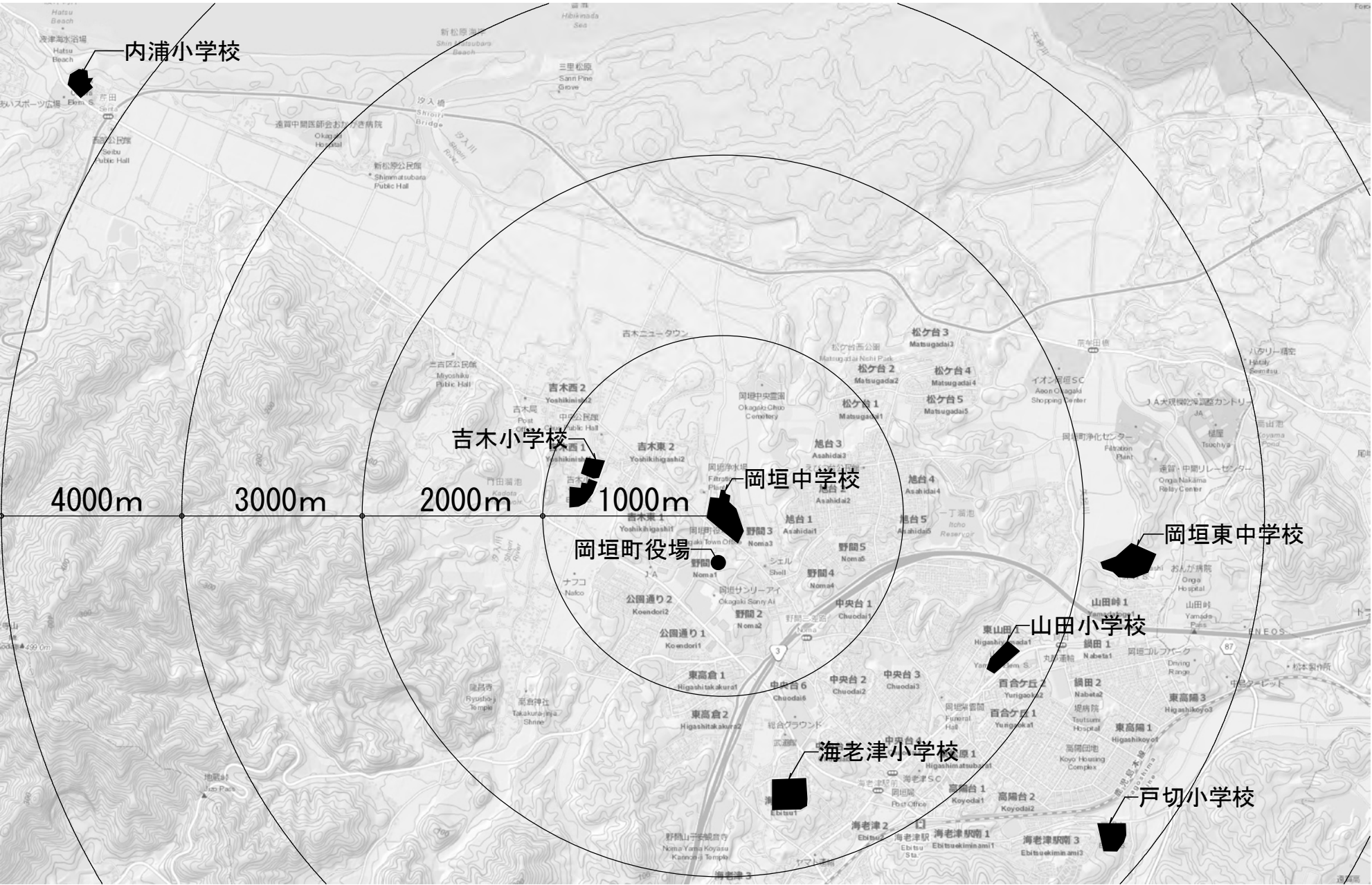
町立小中学校の校舎や体育館などの現有施設の多くは、昭和40年代から50年代にかけて建築されています。

これらの施設について町では、耐震補強、外壁や屋上防水の改修、トイレの洋式化、空調整備の設置・改修等を行い、教育環境を整備、維持しています。令和3年度には、町内で2番目に新しい岡垣東中学校校舎が築40年を経過し、これからの20年は学校施設の改築が大きな課題となります。

学校の改築には、国庫負担の制度があるものの町においても多額の予算が必要となることから、「岡垣町公共施設等総合管理計画（平成29年3月、令和6年3月一部改訂）」に基づき計画的に進める必要があります。

町立小・中学校（主な校舎）の建築年と経過年数

学校名	建築年	経過年数
岡垣中学校	昭和36年	64年
内浦小学校	昭和40年	60年
吉木小学校	昭和41年	59年
戸切小学校	昭和43年	57年
海老津小学校	昭和52年	48年
岡垣東中学校	昭和56年	44年
山田小学校	平成13年	24年

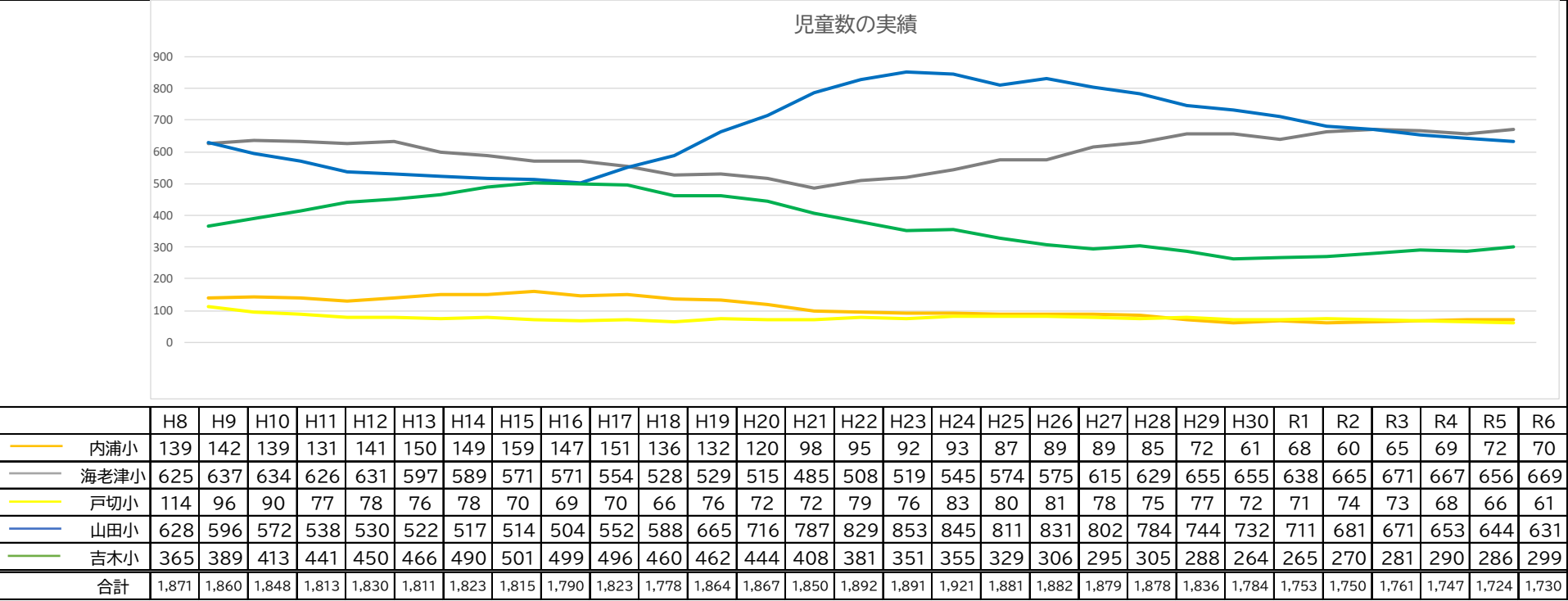


出典：北九州市「道路路線網図・幅員マップ」をもとに作成

(2) 児童生徒数の現状と推移（予測）

今後、少子高齢化が進み、町全体の人口減少が進んでいく中で、児童生徒数も減少していく見込みです。また、建築及び維持管理費用等の削減という財政的な目線だけでは、学校教育に求められる教育効果を達成することは困難です。このような状況において、一番大切にすべき事項は「将来の児童生徒の教育環境の充実」であり、学校施設の改築の際には、ソフト・ハードの両面から教育環境を充実させる必要があります。

●児童数の現状



●児童生徒数の推移（予測）

学校名など		2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
内浦 小学校	児童数(全体)	76	75	69	67	66	64	61	58
	1学年 当たり	児童数	13	13	12	11	11	11	10
		学級数	1	1	1	1	1	1	1
海老津 小学校	児童数(全体)	649	583	538	518	509	499	475	453
	1学年 当たり	児童数	108	97	90	86	85	83	79
		学級数	3	3	3	3	3	3	3
戸切 小学校	児童数(全体)	63	66	60	58	57	56	53	51
	1学年 当たり	児童数	11	11	10	10	10	9	9
		学級数	1	1	1	1	1	1	1
山田 小学校	児童数(全体)	612	572	527	508	499	489	466	444
	1学年 当たり	児童数	102	95	88	85	83	82	78
		学級数	3	3	3	3	3	3	3
吉木 小学校	児童数(全体)	305	296	274	263	259	254	241	230
	1学年 当たり	児童数	51	49	46	44	43	42	40
		学級数	2	2	2	2	2	2	2
児童数合計		1,705	1,592	1,468	1,414	1,390	1,362	1,296	1,236

学校名など		2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
岡垣 中学校	生徒数(全体)	492	501	470	429	426	415	406	382
	1学年 当たり	児童数	164	167	157	143	142	138	127
		学級数	5	5	5	5	5	4	4
岡垣東 中学校	生徒数(全体)	349	357	334	306	303	296	290	272
	1学年 当たり	児童数	116	119	111	102	101	99	97
		学級数	4	4	4	3	3	3	3
生徒数合計		841	858	804	735	729	711	696	654

※生徒数について、2025年は実績値。2030以降は、令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口を基にコーホート変化率法にて推計した児童生徒数を採用。

※学級数について、2025年は実績値。中学校設置基準では1学級あたり40人として定められているが、将来的に1学級あたり35人となることが想定されるため、ここでは1学級当たり35人として算出。